

# 民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 57 号 令和 2 年 秋号



坂越幼稚園の園児達



## 民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



# 民生委員児童委員 各地区活動報告

## 御崎地区「地域福祉推進連絡会」

昨年12月より新メンバーの民生委員・児童委員9名と地域福祉推進委員18名の総勢27名で、地域における福祉の増進を図る為、社会福祉の精神に基づいて、一人暮らし老人や高齢者世帯への安否確認や友愛訪問、給食サービス等の福祉活動を行っています。

また、まちづくり推進協議会主催の三世交代もちつき大会や敬老会等への行事にも参加協力を行い、地域の見守り隊として頑張っています。



## 赤穂地区「いきいき百歳体操教室」

始まって4年目を迎える駅北サロンの体操教室。退職し、家にこもりがちになる人達から自然と声があがり、地域包括支援センターの方々の協力を得て始まったそうです。週に1回2部制で、65歳から90歳までの約20名の方が参加されています。百歳体操を続けてよかったことはと尋ねると、目に見えた効果はないけれど、健康維持ができていたと答えた方がほとんどでした。数回お休みすると、体の変化がよくわかるそうです。「継続は力なり」!!



## 坂越地区「コロナに負けないで」

坂越地区では、コロナウイルスであらゆる行事が中止になり、寂しい日々を送っていましたが、その中で、坂越幼稚園では梅雨の晴れ間をぬって、元気いっぱい水遊びをしました。雲ひとつないお天気の中、園児達が楽しそうに遊んでいる姿を見て、とても嬉しく思いました。これも園長先生をはじめ職員の皆様、保護者の方々のご理解と、子供たちに対する優しさがあったことだと感じました。

“コロナと熱中症とんでいけ”と言わんばかりの園児達です。

## 高雄地区「お互い様の心で」

高雄地区は民生委員児童委員の半数が入り替わりしました。これまでの先輩民生委員児童委員から引き継いだ「お互い様の心」で地域の見守り隊として安否確認・給食サービス・友愛訪問・敬老会等様々な支援を一致団結して、きめ細やかな活動を行っています。

昨年同様、私たちは、「たすけあう・かわりあう・おもいあう」の精神で今日も頑張っています。



## 城西地区「給食レシピ研修会」を開催

新型コロナウイルス感染防止のため、給食サービスを休止せざるをえず、心待ちにしておられる利用者みなさんの声を聞くたびに一日も早い再開を願わずにはられません。城西地区では8月19日、給食従事者を対象に「給食レシピ研修会」を開催。給食サービスが始まった経緯や他地区の実施状況（アンケート結果）の説明、また、今後の課題として、従事者の負担軽減についても話し合いました。

## 塩屋地区「友愛訪問を終えて」

今年は新型コロナウイルスの影響で花見、給食サービス等が中止となっており高齢の方と触れ合う機会が少なくなっています。

市内に感染者発生ニュースが流れ不安が募る中ではありましたが、8月1日に素麺を持って友愛訪問を行いました。猛暑中ではありましたが、チャイムの音に「はーい」と元気な声が返ってきて安心しました。長い自粛生活が続いている今、人が寄り添う事の大切さを強く感じました。



## 有年地区「めざせ健康長寿」

このたびお祝いを受けられた皆様おめでとうございます。9月15日、市より支給の健康祝い金を米寿と白寿になられた方々にお渡ししました。

新型コロナウイルス感染への予防から私の担当地区では毎年行われている敬老の日にちなんで催しも中止になりました。また月一回行っている高齢者宅への福祉弁当も手作りから購入配布になっています。一日も早く新型コロナウイルスが終息することを願っています。



## 西部地区「地区定例会への支援について」

西部地区の定例会は毎月第2火曜日に開催しています。在宅介護支援センターやすらぎより講師派遣の支援を受けています。内容は介護保険制度等の話、委員のかかえている問題等、具体的なケースについてより理解できるようにわかりやすく話をしてくれます。また現在問題が生じているケースについては訪問を通じて解決のアドバイスをしてくれています。

## 広報部会

新型コロナウイルス感染予防のため、毎月行われている民生委員児童委員協議会の定例会中止が続いていましたが、9月定例会がA班B班の二部制で機の間隔を広く取り、全員マスク姿、また民生委員児童委員信条・児童憲章の唱和なしの形で初めて行われました。研修内容は、高齢者福祉部会として市地域包括支援センターの有吉千恵講師による「独居高齢者への支援、民生委員、地域、行政との連携」と題して行われました。



## 尾崎地区「新型コロナウイルスとエレベーター工事」

新型コロナウイルス感染の恐れがあるため今年度の行事はことごとく中止に追い込まれています。行事参加者は、高齢者が対象であるため、もし、コロナウイルスに感染すると命を落とす可能性があるため中止はやむを得ないところでした。早くコロナウイルスが終息することが望まれます。

尾崎地区福祉推進連絡会の活動拠点として利用させて頂いている尾崎公民館では、エレベーター設置工事が7月より始まり来年2月12日までの予定になっています。この期間は有料給食を休止することになり、楽しみに待っている方には我慢して頂いています。





## 親から子への「ありがとう」

家庭は、子どもが会う最初のコミュニティ。そこから、学校・職場・地域へとどんどん大きなコミュニティに温かな言葉を広げていくことができる。

感謝の輪がその子の周りから外側の世界へ広がっていく。人は人から大切にされると、人を大切にできるようになる。感謝の気持ちを伝えることは、人を大切にすると同時に自分を大切にすることにも繋がっていく。「ありがとう」の言葉には、周りの世界に影響をあたえるエネルギーがある。人と心地良く繋がっていける。

子育て講座で「子育ての目標」として多いものに「思いやりのある子に」「人の役に立てる子に」「自分のことが好きな子に」などがある。これらに共通することは、どれも「ありがとう」の言葉である。

思いやりを持って接した時、人の役に立った時に受けとる言葉。そして「ありがとう」の言葉を受けとった時、自己肯定感が高まり自分のことが好きになっていく。

期間限定の子育て。いつか必ず子どもは親の元から巣立ってゆく。だから、今日一日「今、この瞬間」に寄り添い、共に喜び、泣き、子育てを楽しんでいきたい。

子どもたちから学び、子育てしながら、大人も子どもたちに育てられている。それこそ「有り難い」ことである。

## 児童福祉部会

本年は年初の新型コロナウイルス発生以来、感染は拡大し、ほぼ全ての会合や行事が中止されました。児童福祉部会でも、今年は赤穂市が策定した「第2期赤穂市子ども・子育て支援5ヶ年計画」を研修等を通じて学び、協力していく予定でしたが実行できておりません。特に、この新計画の事前調査でひとり親家庭の内、相談先の無い家庭が47%もあり、私達民生委員児童委員や主任児童委員の認知が進んでいないことが気になっています。しかし、新型コロナウイルスの対応も、やっとアゲインストコロナからウィズコロナに変わり、徐々に研修等も可能となってきました。今後は、「ニューノーマル」を考慮しつつ研修、各種団体との交流、イベント等を通じ、地域社会での児童福祉の増進に努めてまいります。

## 障がい者福祉部会

今年1月、中国湖北省武漢で新型コロナウイルスによる肺炎が拡大、ロックダウンのニュースが飛び込んできました。グローバル化した社会であり一瞬の内に感染が拡大してしまいました。感染を防ぐ手段は、三密を避ける、ソーシャルディスタンスの徹底、マスク着用、手の消毒等新しい生活様式への移行です。接触型社会から非接触型社会へ。リモート、テレワーク、オンライン等、人間同士の接触が希薄化した社会になると、障がい者に与える影響は計り知れません。個人の人格と個性を尊重し合える共生社会創りはウィズコロナであっても不変です。

人と人との繋がりを大切にしたい社会、格差のない社会を目指した部会活動にしていきます。

## 高齢者福祉部会

新型コロナウイルス感染症は人間社会が長年築き上げてきた生活環境・行動様式を一変させ未だ収束の兆しがみられません。

人と人との距離を保たなければならない新しい生活様式により私達の活動は大きく制限されることとなり、あらゆる行事が中止に追い込まれました。高齢者福祉部会活動においても予定変更を余儀なくされ停滞している状況にあります。

コロナ禍によってデジタル化、オンライン化、キャッシュレス化への加速が見られますが、高齢者にとっては新たな問題点となるのではと考えています。

感染リスクが高く重症化しやすい高齢者の方々とのふれあいは最も注意が必要ですが、今できることは何か考えながら研修会を実施し、少しずつ日常生活の回復を願って前へ進んでいきたいと思っております。

## 編集後記

コロナウイルス感染の収束がまだ見えず、地域の行事、活動が縮小、中止になっていく中、原稿をお願いした方々には数少ない活動を工夫して記事にして頂き大変ありがとうございました。広報部会も全員での編集会議が開けず役員、オブザーバーによる会議のみでの編集となってしまいました。

広報部会